

第26回 1月19日（木）13:00～14:30

不可視化される弱者  
～あなたは仕送りされる側？/する側？～



**ヒオカ氏**

ノンフィクションライター/作家

**会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室**

### <講師プロフィール>

1995年生まれ。地方の貧困家庭で育つ。noteで公開した自身の体験「私が“普通”と違った50のこと～貧困とは、選択肢が持てないということ～」が話題を呼び、ライターの道へ。“無いものにされる痛み想像力を”をモットーに、弱者の声を可視化する取材・執筆活動を行う。連載に『足元はいつもぬかるんでいる』（mi-mollet）、『貧しても鈍さない 貧しても利する』（婦人公論.jp）がある。初の著書『死にそうだけど生きてます』（CCCメディアハウス）を刊行。

### <担当スタッフより>

みなさんは「貧困」を身近に感じたことはありますか？「貧困」というと発展途上国で食べるものがなく飢えている人びとをイメージするかもしれませんが、しかし、先進国である日本においても「貧困」は存在し、みなさんの日常の中に隠れています。ヒオカさんはご自身の経験を発信し、「貧困」という「枠」を示すことで、見えないものにされている弱者の声や痛みを可視化されている方です。ヒオカさんのお話を通して、少しでも日本の「貧困」について知り、考えていただけたら嬉しいです。